

情報と職業

2単位 3年(後期)

吉田 敦也・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 計算機やインターネットの発達、普及による情報化が産業、社会へどのように影響しているか、それらが職業、雇用にどのような影響を与えているかを調査、探求して理解を深めていくのが目的である。

【授業概要】 情報システム、情報化のビジネスへの影響、情報技術の企業での利用状況、電子商取引、インターネットビジネス、情報産業、情報技術の人材育成、情報化の、雇用と職業への影響等について、受講生に主体的に、調査、探索をしてもらい、発表、議論をすることで理解を深める。受講生が調査、準備している間に、情報システムの発展という観点から、計算機の発展の歴史についてかなり詳しく説明をする。

【キーワード】 情報社会、経営情報、電子商取引、情報システム

【到達目標】

1. 情報システムについて調べる。
2. 情報化のビジネスへの影響、情報技術の企業での利用について考える。
3. 電子商取引、インターネットビジネスについて理解する。
4. 情報産業について理解する。
5. 情報化と教育、情報化のため人材育成を理解する。
6. 情報化時代の雇用、職業の状態を理解する。

【授業計画】

1. 情報システムについて (1~ 3)
2. 情報化のビジネスへの影響 (4~ 6)
3. 情報技術、情報システムの企業での利用状況 (7~ 8)
4. 電子商取引とインターネットビジネス (9~ 10)
5. 情報技術の人材育成 (11~ 12)
6. 情報化の雇用、職業への影響 (13~ 14)
7. 時間の余裕のあるときに、情報システムの発展という観点から計算機の歴史を説明する。

【成績評価】 2~3人のグループに分かれて、いろいろな問題について、主体的に調査、探求して、報告をしてもらいます。それを、評価の中心にします。更に、授業の最後で、簡単なレポートを書いてもらうことがあります。この評価を加味します。

【再試験】 なし。

【教科書】 教科書:使用せず

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219227>

【連絡先】

⇒ 吉田 (088-656-7897, yos@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL